

2020年8月30日(日)

しゅうほう  
週報

教会標語

日本キリスト教団 久宝教会  
第63巻第21号(通算3198号)  
教会設立 1959年6月14日

かみさま つく  
神様が創られたすべての命を  
たいせつ きょうかい  
大切にする教会



〒581-0072  
大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10  
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

主任担任教師・牛田 匡 牧師  
担任教師・水谷 憲 牧師  
隠退教師・小林 達夫 牧師

ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)  
http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、  
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5:5)

せいれいこうりんせつ だい しゅじつれいはい  
聖霊降臨節 第14主日礼拝

《<sup>しんがた</sup>新型<sup>かんせんぼうし</sup>コロナウイルスの<sup>りゆうい</sup>感染防止に<sup>れいはい</sup>留意しながら<sup>おこな</sup>礼拝を行います。インター  
ネット<sup>ちゅうけい</sup>中継をしておりますので、<sup>じたく</sup>ご自宅でも<sup>とも</sup>共に<sup>れいはい</sup>礼拝をして<sup>いた</sup>頂けます》

ぜん そ う もくとう  
前 奏 黙 祷

まね ことば しゅつ き  
招きの詞 出エジプト記

しょう せつ  
34章 6-7節

さんび か ばん  
賛美歌 433番「あるがままわれを」(©著作権消滅)

ちょうさくけんしやうめつ

せい し しょ ふくいんしよ  
聖 書 ヨハネによる福音書

しょう せつ  
8章 1-11節

いの  
お 祈 り

さんび か ばん すく しゅ きやうだんさんびかかいていいんかい  
賛美歌 481番「救いの主イエスの」(©教団讚美歌改訂委員会)

メッセージ「あなたの『おうち』はどこですか?」 牛田 匡 牧師

さんび か ばん しゅ ささ きやうだんさんびかかいていいんかい  
賛美歌 512番「主よ、献げます」(©教団讚美歌改訂委員会)

しゅ いの ページ さんしやう  
主の祈り (2頁をご参照ください)

たんじやうしやしゆくふくしき  
誕生者祝福式(\*)

うしだ ただし ぼくし  
牛田 匡 牧師

きさげもの  
献 げ 物 (\*\*)

は け ばん かみ めぐ う せつ  
派 遣 91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅく ふく うしだ ただし ぼくし  
祝 福 牛田 匡 牧師

こう そ う ばん きやうだんさんびかかいていいんかい  
後 奏 コーラス (40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほう こ ページ さんしやう  
報 告 (4頁をご参照ください)

《<sup>れいはい</sup>礼拝は<sup>じゆうせき</sup>自由席です。おとなりの方との<sup>かた</sup>間隔をあけて、<sup>かんかく</sup>席にお座りになっ  
たままで<sup>れいはい</sup>礼拝にご参加<sup>さんか</sup>ください》

\* みんなで8月生まれの方(と今年度8月までにお生まれの方)を祝福し  
ます。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

\*\* 「<sup>きさげもの</sup>献げ物(<sup>けんきん</sup>献金)」は<sup>さんかひ</sup>参加費ではございません。  
<sup>うけつけ</sup>受付に<sup>けんきんばこ</sup>献金箱が<sup>ご</sup>ございます。ご用意のある方のみ、<sup>ささ</sup>お献<sup>げ</sup>ください。

招きの詞 出エジプト記 34章 6-7節

6b 「主、主、憐れみ深く、恵みに満ちた神。

怒るに遅く、慈しみとまことに富み

7 幾千代にわたって慈しみを守り

過ちと背きと罪とを赦す方。

しかし、罰せずにおくことは決してなく

父の罪を子や孫に

さらに、三代、四代までも問う方。」

聖書 ヨハネによる福音書 8章 1-11節

[<sup>1</sup> イエスはオリーブ山へ行かれた。<sup>2</sup> 朝早く、再び神殿の境内に入られると、民衆が皆、御もとに寄って来たので、座って教え始められた。<sup>3</sup> そこへ、律法学者たちやファリサイ派の人々が、姦淫の現場で捕らえられた女を連れて来て、真ん中に立たせ、<sup>4</sup> イエスに言った。「先生、この女は姦淫をしているときに捕まりました。<sup>5</sup> こういう女は石で打ち殺せと、<sup>a</sup> モーセは律法の中で命じています。ところで、あなたはどうかお考えになりますか。」<sup>6</sup> イエスを試して、訴える口実を得るために、こう言ったのである。イエスはかがみ込み、指で地面に何か書いておられた。<sup>7</sup> しかし、彼らがしつこく問い続けるので、イエスは身を起こして言われた。「あなたがたの中で罪を犯したことの無い者が、まず、この女に石を投げなさい。」<sup>8</sup> そしてまた、身をかがめて地面に書き続けられた。<sup>9</sup> これを聞いた者は、年長者から始まって、一人また一人と立ち去ってゆき、イエス独りと、真ん中にいた女が残った。<sup>10</sup> イエスは、身を起こして言われた。「女よ、あの人たちはどこにいるのか。誰もあなたを罪に定めなかったのか。」<sup>11</sup> 女が、「主よ、誰も」と言うと、イエスは言われた。「私もあなたを罪に定めない。行きなさい。これからは、もう罪を犯してはいけない。】(注 a: ヘブライ語聖書・レビ記 20: 10、申命記 22: 22-24 参照)

主の祈り (日本聖公会・カトリック教会共同訳)

天におられる私たちの父よ、み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われる通り、地にも行われますように。

私たちの日ごとの糧を、今日もお与えください。

私たちの罪をおゆるしくください。私たちも人をゆるします。

私たちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。 アーメン。

## 《先週のメッセージより》8月23日 聖霊降臨節第13主日礼拝

メッセージ「神様の働かれる畑」より

牛田 匡 牧師

聖書：コリントの信徒への手紙Ⅰ 3章1－9節

今回の聖書は、大都市コリントにあった教会に宛てたパウロの手紙でした。都市の中でも「弱い者」「取るに足らない者や軽んじられている者」「無に等しい者」とされていた人たちが、その教会のメンバーでした（1コリント1：26－28）。教会は「富や権力、暴力によって、強い者が弱い者を支配するという世の価値観」とは異なった「神様の価値観」によって集まった人々の共同体でした。しかし、そのような教会の中においても、やはりメンバー同士の妬みや争い、対立や分派争いがありました。ある人は「私はパウロに付く」と言い、またある人は「私はアポロに付く」と言っていたそうです（3：4）。しかし、パウロは記しました。「アポロとは何者ですか。パウロとは何者ですか」（5）、「私が植え、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させてくださったのは神です。ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神なのです」（6－7）。

命の神様の働きが無ければ、いくら種を植え、水を注いだとしても、種が芽を出し、育つことはありません。肝心なのは「どの人がより正しいか、立派か、価値があるか」ではなく、命を与え、育んで下さる神様です。そしてパウロは「あなたたちは神の畑、神の建物なのです」と続けています。「たとえ今は分裂、対立していたとしても、そんなあなたたちも神様の働かれる畑です、神様の建てられる建物です。そのことを忘れずに、覚えていてください」ということでしょう。

さて、私たちは自分自身を「神様が働かれる畑」だと思っているのでしょうか。ともすると「自分の人生」「自分の命」と思ってしまうかもしれません。神様から生かされている命、神様が働かれる畑である私たちは、一体どのような実りのために用いられるのでしょうか。今、目に見える形での実りがあるにせよ、ないにせよ、神様の計画されている実りはこれからなのかもしれません。1年前には、新しい病気によって世界がこのような状況になるとは、誰も考えていませんでした。1年後の社会もまた、今とは全然違ったものになっているかもしれません。そのような時だからこそ、今までに手に入れた成果や形にこだわるのではなく、「誰かに付く」と言うのでもなく、他でもない神様が、共にいて働いてくださる畑であるということを思い出したいと思います。

神様は立派な建物の中や、高価なお供え物の前にはおられません。世間から見向きもされない片隅の名もなき人たちと共におられます。コロナの影響を受けて今、困っている方々と共におられます。その神様からの力と励ましを頂いて、分裂と対立ではなく、和解と一致を目指した歩みへと、私たちは今日も導かれて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (8月23日)

礼拝出席 大人7名 献金 8,000円 感謝

礼拝後に、釜ヶ崎への「おにぎり支援」を行い、5名で106個のおにぎりを作り、いこい食堂へ届け、釜ヶ崎の方々へお渡し致しました。どうもありがとうございました。

◎次週 2020年9月6日(日) 聖霊降臨節第15主日礼拝

招きの詞 ヨハネによる福音書 8章 12節


聖書 エフェソの信徒への手紙 5章 7-20節

メッセージ「光る、光る、すべては光る」 牛田匡牧師

賛美歌 205番(©教団讃美歌委) 503番(©教団讃美歌委) 509番(©JASRAC)

礼拝はインターネットで中継配信いたします。なお礼拝の中で、ユーカリストを行う予定です。また礼拝後には、8・9月期の「教会を考える会(役員会)」を行う予定です。役員ではない方も陪席自由ですので、教会についてご一緒に考えてくださる方はどうぞご出席ください。

◎ お知らせ

- ・全国で、新型コロナウイルス感染者数が増えています。教会では引き続き、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。また教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加くださいますように、ご検討ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載いたしますので、そこからダウンロードして頂くことができますし、それらをご自宅までお届けすることもできます。また必要な方には、教会の『聖書』と『讃美歌』を貸し出しいたしますので、お申し出ください。今後も、感染状況の変化に伴う礼拝の持ち方など最新のお知らせについては、ホームページ、Facebook、LINE公式アカウントなどで、お知らせいたします。
- ・福島第一原発からの「トリチウム汚染水の海洋放出に反対する署名」は8月末がベ切です。オンライン署名が可能です。ご賛同いただける方は、右のQRコードか、URL (<http://fukushima-kenmin311.jp/>) より、 署名にご協力ください。(これまでに教会に頂いた署名用紙はまとめて発送いたしました。ご協力どうもありがとうございました)
- ・キリスト教保育連盟が毎年開催していた「夏期講習会」は、今年はインターネットで先週22日に「キ保誌の日」として開催されました。キリスト教保育連盟のホームページ (<https://www.kihoren.com/>) より、講習会のビデオ録画をどなたでも無料で視聴することが出来ます(礼拝と4つの講演があり、全体で約1時間半ですが、Youtubeで部分視聴も可能です)。詳しくはホームページをご確認ください。

◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕者

	会場	メッセージ	行事
9/6	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	教会を考える会
9/13		牛田牧師	聖書を読む会
9/20		水谷牧師	
9/27		牛田牧師	誕生者祝福式 おにぎり支援

